

目次

第1章 序論

1.1 ITSの発達と自動車運転環境における情報機器の導入-----	1
1.2 自動車運転環境のデュアルタスク化と問題点 -----	2
1.3 聴覚・音声メディアの特徴-----	4
1.4 立体音響-----	5
1.5 本研究の目的-----	6
1.6 立体音響を用いたUIの先行研究-----	7
1.6.1 空間的な位置情報を聴覚・音声情報に付加したUIの先行研究-----	7
1.6.2 本研究の位置づけ-----	8
1.7 音声操作型車載情報機器-----	9
1.7.1 運転環境における音声操作型車載情報機器の概要-----	9
1.7.2 逐次音声操作型システム-----	10
1.8 立体音響の実現技術-----	11
1.8.1 立体音響技術-----	11
1.8.2 本研究における立体音響技術-----	15
1.9 本研究の章構成-----	15

第2章 音源数と音色数が記憶に与える影響の検討

2.1 本章の目的-----	18
2.2 記憶実験音源の配置-----	18
2.2.1 実験計画と音源配置計画-----	18
2.2.2 音響刺激の収録-----	20
2.3 実験課題および測定項目-----	21
2.3.1 実験課題-----	21
2.3.2 測定項目-----	21
2.4 実験システム-----	23
2.5 予備実験-----	25
2.5.1 目的-----	25
2.5.2 方法-----	25
2.5.3 結果-----	25
2.6 記憶実験-----	25
2.6.1 実験場所および被験者-----	26

2.6.2 実験手順	26
2.7 結果	27
2.7.1 記憶課題	27
2.7.2 メンタルワークロード評価	28
2.7.3 心理的な評価構造モデルの抽出	28
2.8 考察	30
2.9 まとめ	31

第3章 ユーザテスティングによるエラーの検討

3.1 本章の目的	32
3.2 ストーリーボード評価システム	32
3.2.1 逐次操作型 UI	32
3.2.2 ユーザテスティング手法	32
3.2.3 観察法とプロトコル分析法を用いた行動観察システム	34
3.2.4 車内HMI収録システム	35
3.2.5 評価システム	36
3.3 実験方法	38
3.3.1 実験システム	38
3.3.2 実験課題	39
3.3.3 評価項目	39
3.4 実験手続き	39
3.4.1 実験場所および被験者	39
3.4.2 実験手順	39
3.5 結果	40
3.5.1 エラーの分類	40
3.5.2 エラーの発生割合	43
3.5.3 エラーのループ	43
3.6 考察	45
3.7 まとめ	45

第4章 立体音メニューを用いた音声呈示の検討

4.1 本章の目的	47
4.2 デュアルタスク環境	48
4.2.1 デュアルタスク環境における運転余裕度モデル	48
4.3 主タスク	49
4.3.1 運転シミュレータの概要	49
4.3.2 主タスクの設定	49

4.4 副次タスク-----	49
4.4.1 音声操作シミュレータの概要-----	49
4.4.2 副次タスクの設定-----	51
4.5 実験条件群-----	51
4.6 被験者-----	54
4.7 手続き-----	54
4.8 評価手法-----	55
4.8.1 目的地設定タスク達成率-----	55
4.8.2 運転速度不安定度-----	55
4.8.3 内省報告-----	56
4.9 結果-----	56
4.9.1 目的地設定タスク達成率-----	56
4.9.2 運転速度不安定度-----	57
4.9.3 内省報告-----	57
4.10 考察-----	57
4.11 まとめ-----	58

第 5 章 音源の遠近による ITS 情報の優先度表現

5.1 本章の目的-----	60
5.1.1 ITS 情報の統合管理のための区分と優先度-----	60
5.1.2 パーソナルスペースと主観的重大性-----	61
5.2 予備実験: 音色, 遠近距離, 音圧が主観的重大性に与える影響-----	62
5.2.1 目的-----	62
5.2.2 実験計画-----	62
5.2.3 方法-----	63
5.2.4 結果-----	64
5.3 本実験: 呈示ヒューマンインターフェースの設計-----	66
5.3.1 実験計画と音源配置-----	66
5.3.2 音声の収録-----	67
5.4 実験課題および測定項目-----	68
5.4.1 実験課題-----	68
5.4.2 測定項目-----	69
5.5 実験システム-----	71
5.6 実験手続き-----	73
5.6.1 実験場所および被験者-----	73
5.6.2 実験手順-----	74
5.7 結果-----	75

5.7.1 高優先度情報に対する反応時間-----	75
5.7.2 記憶課題成績-----	76
5.7.3 視認特性-----	78
5.7.4 メンタルルーキード評価-----	79
5.7.5 内省報告-----	79
5.8 考察-----	80
5.9 まとめ-----	81
第 6 章 考察-----	
6.1 本研究における諸検討の概要と得られた知見-----	82
6.2 知見のまとめ-----	84
6.3 今後の課題-----	86
第 7 章 結論-----	88
謝辞-----	91
参考文献-----	92